

# 景 気 動 向 調 査

(第 190 回)

2018 年 7 月～ 9 月期実績

2018 年 10 月～12 月期予測

株式会社 北日本銀行

経 営 企 画 部

## 目 次

調査要領	.....	1
概 況	.....	2
1. 県内景況感について	.....	4
2. 業況について		
(1) 売上高または出荷高	.....	5
(2) 仕入高または生産高	.....	6
(3) 在 庫	.....	7
(4) 収 益	.....	8
(5) 販売価格・仕入価格	.....	9
3. 設備投資の動向について		
(1) 設備投資の実施状況	.....	10
(2) 設備投資の目的	.....	11
4. 資金繰り状況について		
(1) 資金繰り状況	.....	12
(2) 現金・預金	.....	13
(3) 金融機関借入	.....	13
(4) 販売代金回収期間	.....	14
(5) 仕入代金決済期間	.....	14
5. 経営上の問題点について	.....	15

## 調 査 要 領

この報告は、岩手県内企業各社のご協力をもとに、下記の要領により景気動向の調査を行ったものです。

### 記

1. 実施時期 2018年9月下旬～2018年10月中旬
2. 調査対象期間 2018年7月～9月期実績  
2018年10月～12月期予測
3. 調査の方法 郵送による無記名のアンケート方式（年間4回）
4. 対象先 岩手県内企業 283社
5. 回答数 144通（回答率 50.88 %）  
※内訳 製造業 48社 建設業 31社 卸・小売業 65社
6. 調査の主要項目 ・業況について  
・設備投資の動向について  
・資金繰りの状況について  
・当面する経営上の問題点について

以 上

#### 【本文用語説明】

- ①「増加」～グラフ上の「増加」および「やや増加」
  - ②「減少」～グラフ上の「減少」および「やや減少」
  - ③ D I（ディフュージョン・インデックス）～  
「景気動向指数」のことで、各項目について「増加」（増加およびやや増加）と回答した企業の比率から「減少」（減少およびやや減少）と回答した企業の比率を減じた数値である。この値が「0」の場合は、「増加」と「減少」が等しいことを示し、プラスとなるほど「増加」が多く、マイナスになるほど「減少」が多いことを意味する。
- （注）「上昇・低下」「楽になった・苦しくなった」「長くなった・短くなった」の回答についても同様に読み替える。  
ただし、「販売代金回収期間」については、「短くなった」－「長くなった」で算出している。

## 概 況

2018年7～9月期の岩手県内企業の景況感D Iは、全体で△40.9と前期（2018年4月～6月期）△47.9と比較し、7.0ポイント上昇した。  
2018年10～12月期は、景況感個別項目はバラつきが見られるものの低下幅は縮小であり、上昇する見通しとなっている。

D I（景気動向指数）推移

全業種ベース	7～9月期実績	10～12月期見通し
景況感	△40.9	△31.7 ↑
売上高・出荷高	△14.7	△1.4 ↑
収益	△29.5	△21.4 ↑
販売価格	7.7	12.1 ↑
仕入価格	37.5	37.7 →
資金繰り	△8.6	△10.7 ↓

・岩手県内企業「景況感D I」ワーストランキング

	調査回次	対象期間	景況感D I
1	第153回	09年1～3月	△92.7
2	第152回	08年10～12月	△91.3
3	第124回	01年10～12月	△91.2
4	第109回	98年1～3月	△90.6
5	第111回	98年7～9月	△90.0

（1971（昭和46）年以降）

<岩手県の参考データ>

・有効求人倍率の推移

平成30年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.45	1.44	1.45	1.43	1.49	1.45						

平成29年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.42	1.40	1.42	1.41	1.36	1.40	1.40	1.44	1.45	1.46	1.42	1.45

・新設住宅着工戸数の推移

平成30年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
955	685	671	882	695	768						

平成29年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
699	633	617	781	638	757	764	810	652	624	486	563

## 1. 県内景況感について

全体のD Iは、 $\Delta 40.7$ であった。

各業種別のD Iをみると、製造業が $\Delta 45.9$ 、建設業が $\Delta 16.2$ 、卸・小売業が $\Delta 49.2$ と、前回調査時と比べて景況感は、製造業は低下、建設業と卸・小売業は上昇した。

10～12月期見通しでは、製造業が $\Delta 31.9$ 、建設業が $\Delta 12.9$ 、卸・小売業は $\Delta 40.7$ と、全業種で上昇する見通しとなっている。

## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

D Iは、全体では $\Delta 14.7$ であった。業種別では、製造業が $\Delta 6.7$ 、建設業が $\Delta 11.1$ 、卸・小売業が $\Delta 19.3$ である。

### (2) 仕入高または生産高

製造業の生産高はD Iが2.0、卸・小売業の仕入高は $\Delta 21.4$ となった。

### (3) 在庫

製造業の製品在庫D Iは $\Delta 14.6$ 、卸・小売業の商品在庫は $\Delta 34.4$ となった。

### (4) 収益

D Iは、全体では $\Delta 29.5$ であった。業種別では、製造業が $\Delta 31.2$ 、建設業が $\Delta 34.5$ 、卸・小売業が $\Delta 24.2$ である。

### (5) 販売価格・仕入価格

販売価格は7.7、仕入価格は37.5であった。

## 3. 設備投資の動向について

全体でみると、設備投資を「実施した」企業は25.5%となっている。

業種別では、製造業が26.1%、建設業が13.3%、卸・小売業が31.1%である。

設備投資の目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」がトップとなり「生産・販売能力の増加」が2位、「省力化・合理化」が3位となった。

## 4. 資金繰り状況について

D Iは、全体では $\Delta 8.6$ であった。業種別では、製造業が $\Delta 14.6$ 、建設業が3.5、卸・小売業が $\Delta 6.5$ である。

## 5. 経営上の問題点について

全業種合計では、「人手不足」、「売上・受注不振」、「原材料・仕入価格高」が上位を占めている。

# 1. 県内景況感について

～ 実績は、製造業は低下、建設業、卸・小売業は上昇した ～

**[7～9月期の実績]** 県内の景況感（前年同期比）をみると、**全業種**では「良い」と答えた企業が5.6%（前期6.2%）、「悪い」が46.5%（同54.1%）で、DIは△40.7（同△47.9）と、前期に比べて7.0ポイント上昇した。

業種別の景況感（DI）をみると、**製造業**が△45.9（同△44.8）、**建設業**が△16.2（同△35.3）、**卸・小売業**が△49.2（同△57.1）となっており、**製造業**は低下、**建設業**と、**卸・小売業**は上昇した。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、**全業種**では「良くなる」とみる企業が9.2%、「悪くなる」が40.9%であることから、DIは△31.7となり、7～9月期実績と比較して、全体感は上昇する見通しとなっている。

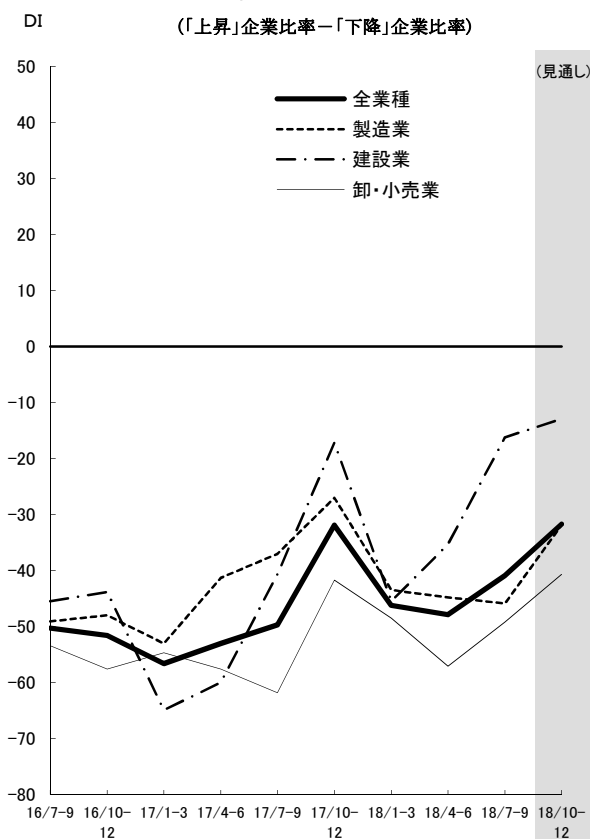
業種別にみると、**製造業**が△31.9、**建設業**が△12.9、**卸・小売業**が△40.7となっており、**全業種**で上昇する見通しとなっている。

県内景況感(前年同期比)

		(%)					DI
	期	良い	やや良	不変	やや悪	悪い	
全業種	7～9月 (実績)	0.0	5.6	47.9	38.2	8.3	-40.9
	10～12月 (見通し)	0.0	9.2	49.9	31.7	9.2	-31.7
(製造業)	7～9月 (実績)	0.0	8.3	37.5	50.0	4.2	-45.9
	10～12月 (見通し)	0.0	10.6	46.9	34.0	8.5	-31.9
(建設業)	7～9月 (実績)	0.0	12.9	58.0	22.6	6.5	-16.2
	10～12月 (見通し)	0.0	19.4	48.3	22.6	9.7	-12.9
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	0.0	0.0	50.8	36.9	12.3	-49.2
	10～12月 (見通し)	0.0	3.1	53.1	34.4	9.4	-40.7

県内景況感(前年同期比)

(「上昇」企業比率-「下降」企業比率)



## 2. 業況について

### (1) 売上高または出荷高

～ 実績は全業種において増加 ～

**[7～9月期の実績]** 売上高・出荷高実績(前年同期比)をみると、**全業種**では「増加」と答えた企業が34.9%(前期30.1%)、「減少」が49.6%(同49.7%)となり、DIは、 $\Delta 14.7$ (同 $\Delta 19.6$ )と4.9ポイント上昇した。

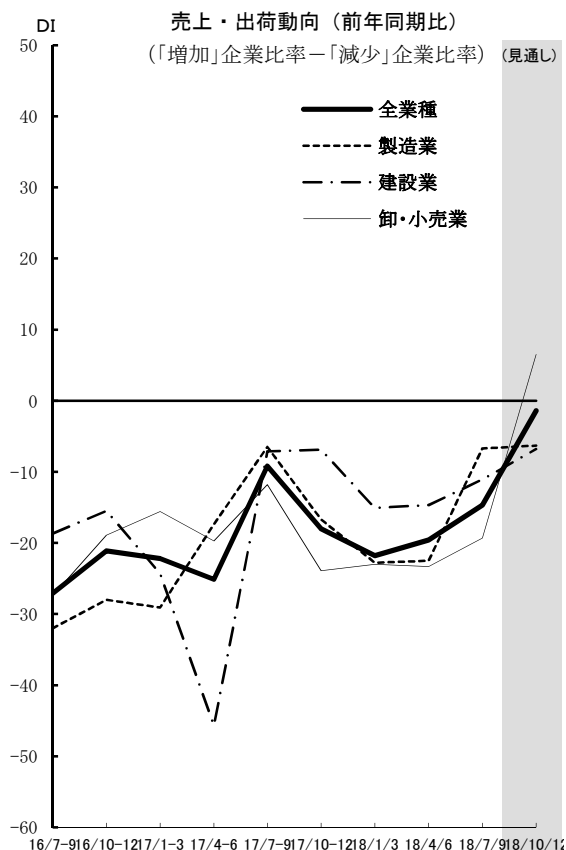
業種別にDIをみると、**製造業** $\Delta 6.7$ (前期 $\Delta 22.5$ )、**建設業** $\Delta 11.1$ (同 $\Delta 14.7$ )、**卸・小売業**は $\Delta 19.3$ (同 $\Delta 23.3$ )となっており、**全業種**において増加した。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期見通し(前年同期比)をみると、**全業種**では「増加」とみる企業が30.9%、「減少」が32.3%であることから、DIは $\Delta 1.4$ となり7～9月期実績と比較して、増加する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、**製造業**で $\Delta 6.3$ 、**建設業**で $\Delta 6.8$ 、**卸・小売業**で $\Delta 6.5$ となっており**製造業**は増加、**建設業**と**卸・小売業**は減少する見通しとなっている。

売上高または出荷高(前年同期比)

		(% )					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
全業種	7～9月 (実績)	6.2	28.7	15.5	36.4	13.2	-14.7
	10～12月 (見通し)	3.6	27.3	36.8	27.3	5.0	-1.4
(製造業)	7～9月 (実績)	8.9	24.4	26.7	24.4	15.6	-6.7
	10～12月 (見通し)	2.1	27.1	35.3	31.3	4.2	-6.3
(建設業)	7～9月 (実績)	3.7	25.9	29.7	33.3	7.4	-11.1
	10～12月 (見通し)	0.0	20.7	51.8	17.2	10.3	-6.8
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	3.5	26.3	21.1	38.6	10.5	-19.3
	10～12月 (見通し)	6.5	30.6	32.3	27.4	3.2	6.5



## (2) 仕入高または生産高

### ～ 実績は製造業、卸・小売業とも上昇 ～

**[7～9月期の実績]** 仕入高・生産高実績（前年同期比）をみると、**製造業**（生産高）では「増加」と答えた企業が39.6%（前期34.7%）、「減少」が37.6%（同36.7%）でありDIは2.0（同△2.0）と4.0ポイント上昇した。

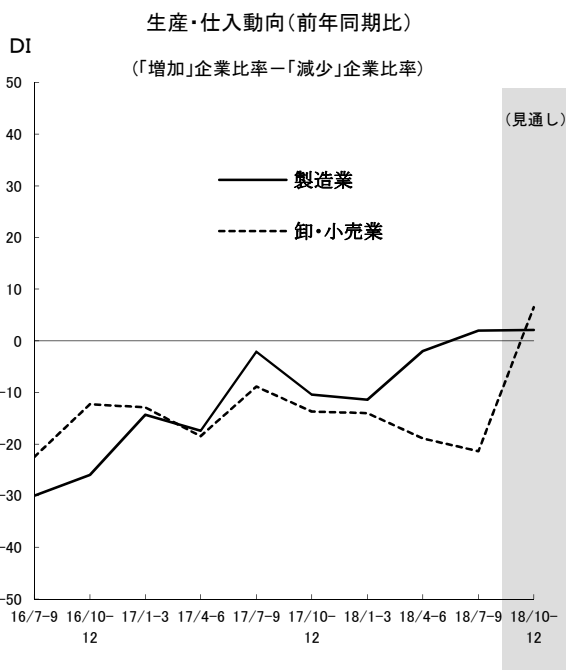
**卸・小売業**（仕入高）では「増加」と答えた企業は29.5%（前期29.3%）、「減少」が50.9%（同48.2%）で、DIは△21.4（同△18.9）と2.5ポイント低下した。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、**製造業**（生産高）については「増加」と答えた企業が33.4%、「減少」が31.3%であることから、DIは、2.1で、7～9月期実績と比較して、6.1ポイント増加する見通しとなっている。

**卸・小売業**（仕入高）については、「増加」と答えた企業が36.1%、「減少」が29.6%であることから、DIは△6.5で、7～9月期実績と比較し上昇する見通しとなっている。

生産高または仕入高（前年同期比）

		（％）					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
（製造業）	7～9月 （実績）	6.3	33.3	22.8	31.3	6.3	2.0
	10～12月 （見通し）	4.2	29.2	35.3	29.2	2.1	2.1
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	4.9	24.6	19.6	36.1	14.8	-21.4
	10～12月 （見通し）	6.6	29.5	34.3	23.0	6.6	6.5





### (3) 在 庫

#### ～ 在庫実績は製造業、卸・小売業ともに減少 ～

**[7～9月期の実績]** 在庫状況実績（前年同期比）をみると、製造業では、製品在庫が「増加」と答えた企業は16.7%（前期24.5%）、「減少」が31.3%（同20.4%）であることから、DIは△14.6（同△4.1）となった。また、製品在庫水準については、「過大」が18.8%（同17.3%）、「適正」が66.6%（同65.3%）、「不足」が14.6%（同17.4%）である。

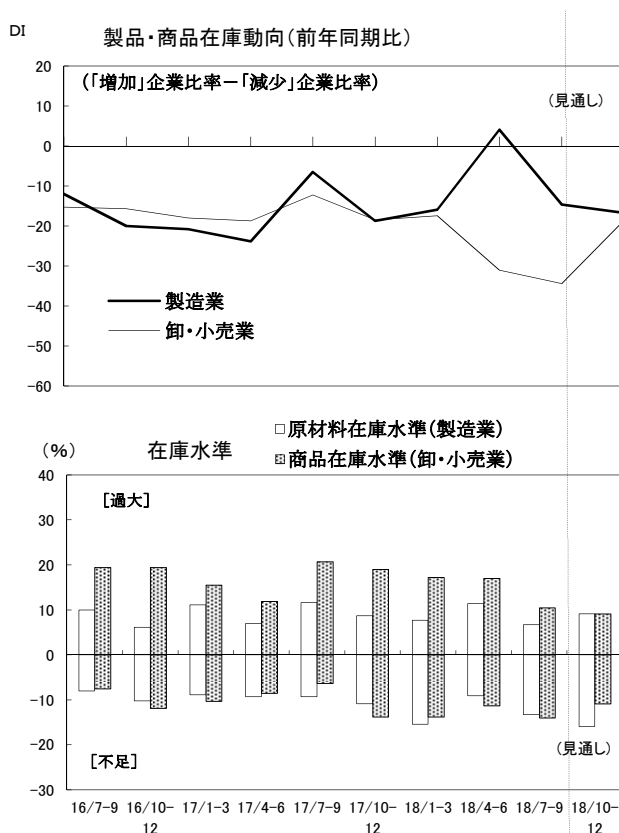
卸・小売業の商品在庫は、「増加」と答えた企業が5.2%（前期8.6%）、「減少」は39.6%（同30.1%）であることから、DIは△34.4（同△31.0）となった。また、商品の在庫水準については「過大」が10.5%（同17.0%）、「適正」が75.5%（同71.7%）、「不足」が14.0%（同11.3%）である。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、製造業の製品在庫は、「増加」とみる企業が12.5%、「減少」が29.2%で、DIは△16.7となっている。また、同じく製品在庫水準については「過大」とみる企業が15.2%、「適正」が67.4%、「不足」が17.4%である。

卸・小売業の商品在庫については、「増加」とみる企業が8.5%、「減少」が27.1%であることから、DIは△18.6となっている。また、同じく商品の在庫水準については「過大」とみる企業が9.1%、「適正」が80.0%、「不足」が10.9%である。

製品・商品在庫（前年同期比）

		（％）					
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	DI
（製造業）	7～9月 （実績）	2.1	14.6	52.0	27.1	4.2	-14.6
	10～12月 （見通し）	0.0	12.5	58.3	27.1	2.1	-16.7
（卸・小売業）	7～9月 （実績）	0.0	5.2	55.2	31.0	8.6	-34.4
	10～12月 （見通し）	0.0	8.5	64.4	22.0	5.1	-18.6



#### (4) 収 益

～ 実績は製造業は上昇、建設業と卸・小売業は低下 ～

**[7～9月期の実績]** 収益動向実績（前年同期比）をみると、全業種では「増加」と答えた企業が23.0%（前期25.2%）、「減少」が52.5%（同51.1%）であり、DIは、△29.5（同△25.9）となり、3.6ポイント低下した。

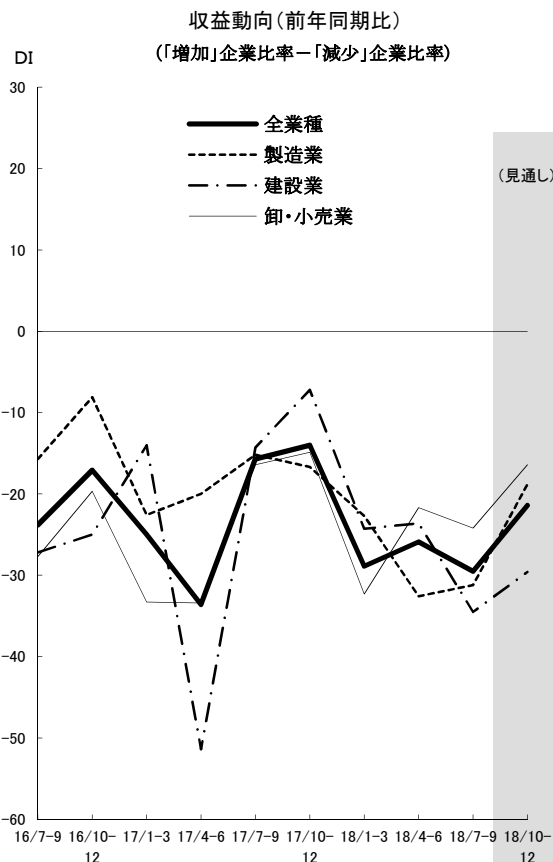
業種別にDIをみると、**製造業△31.2**（前期△32.6）、**建設業△34.5**（同△23.0）、**卸・小売業△24.2**（同△21.7）となっており、**製造業は上昇、建設業と卸・小売業は低下した。**

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、全業種では「増加」とみる企業が20.6%、「減少」とみる企業も42.0%であることから、DIは△21.4で、7～9月期実績と比較して低下する見通しである。

業種別にDIをみると、**製造業△18.8**、**建設業△29.6**、**卸・小売業△16.4**で、7～9月期実績と比較して、**製造業は上昇、建設業、卸・小売業は低下する見通しである。**

収 益(前年同期比)

		DI (%)					DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少	
全業種	7～9月 (実績)	4.3	18.7	24.5	41.0	11.5	-29.5
	10～12月 (見通し)	2.2	18.4	37.4	34.6	7.4	-21.4
(製造業)	7～9月 (実績)	6.3	16.7	22.8	39.6	14.6	-31.2
	10～12月 (見通し)	2.1	20.8	35.4	35.4	6.3	-18.8
(建設業)	7～9月 (実績)	0.0	13.8	37.9	41.4	6.9	-34.5
	10～12月 (見通し)	0.0	3.7	63.0	22.2	11.1	-29.6
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	4.8	22.6	21.0	40.3	11.3	-24.2
	10～12月 (見通し)	3.3	23.0	31.0	36.1	6.6	-16.4



(5) 販売価格・仕入価格

～ 実績は販売価格、仕入価格ともに上昇 ～

**[7～9月期の実績]** 販売価格（前年同期比）をみると、全業種では「上昇」と答えた企業が18.8%（前期18.6%）、「低下」が11.1%（同12.4%）であることから、DIは7.7（同△6.2）と上昇した。

仕入価格（前年同期比）は、全業種では「上昇」と答えた企業が41.0%（前期39.3%）「低下」が3.5%（同5.5%）であることから、DIは37.5（同33.8）と上昇した。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期見通し（前年同期比）をみると、販売価格については「上昇」とみる企業が22.1%、「低下」とみる企業が10.0%であることから、DIは12.1と上昇する見通しとなっている。

仕入価格については、「上昇」とみる企業が41.2%、「低下」とみる企業が3.5%であることからDIは37.7と上昇する見通しとなっている。

販売価格(前年同期比)

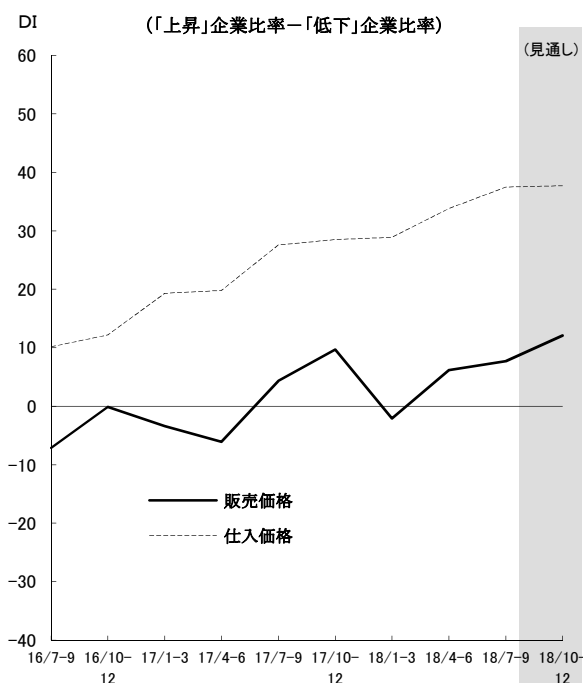
		（%）						
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	DI	
全業種	7～9月 (実績)	2.1	16.7	70.1	10.4	0.7	7.7	
	10～12月 (見通し)	1.4	20.7	67.9	7.9	2.1	12.1	

仕入価格(前年同期比)

		（%）						
	期	上昇	やや上	不変	やや低	低下	DI	
全業種	7～9月 (実績)	4.2	36.8	55.5	3.5	0.0	37.5	
	10～12月 (見通し)	5.0	36.2	55.3	2.8	0.7	37.7	

価格動向(前年同期比)

(「上昇」企業比率-「低下」企業比率)



### 3. 設備投資の動向について

#### (1) 設備投資の実施状況

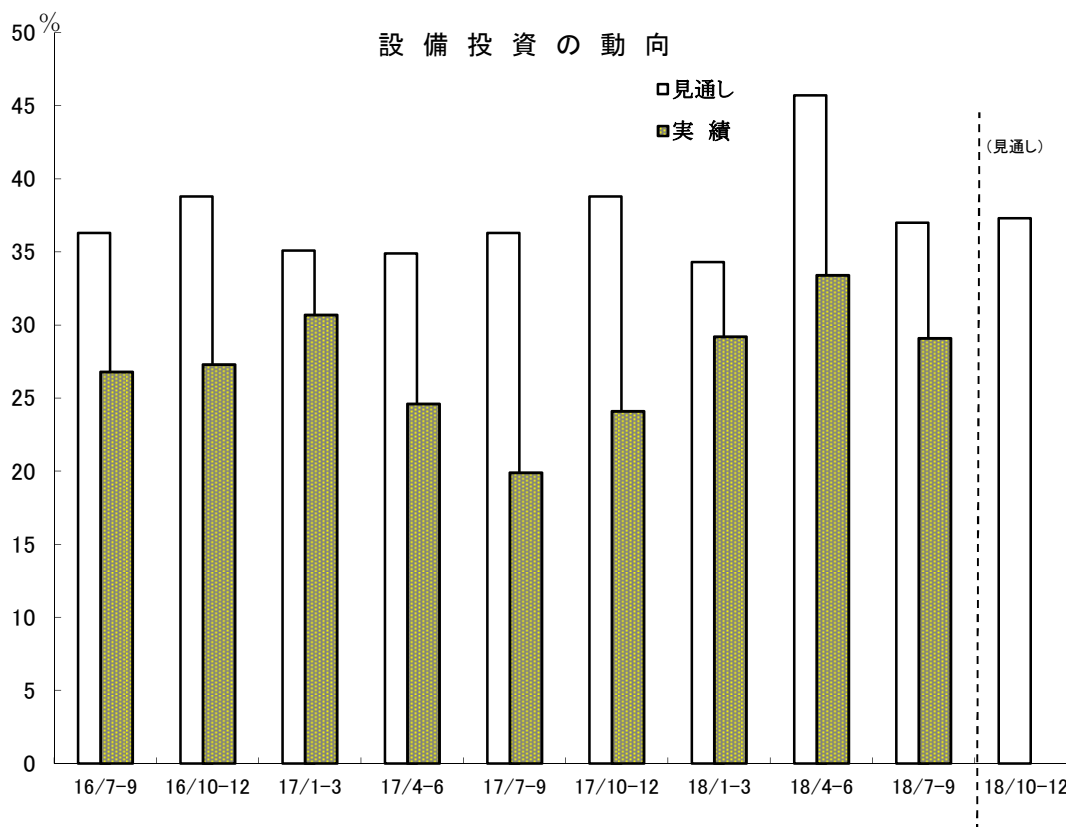
～ 実績は製造業と建設業は減少、卸・小売業は増加 ～

**[7～9月期の実績]** 設備投資の実施状況をみると、**全業種**では「実施した」および「計画を縮小して実施した」と答えた企業は29.1%（前期33.4%）と前期比減少した。

これを業種別にみると、**製造業**28.3%（前期34.1%）、**建設業**20.0%（同32.4%）、**卸・小売業**34.4%（同31.6%）であり、**製造業と建設業は減少、卸・小売業は増加**した。

**[10～12月期の見通し]** 今後3カ月の設備投資について、**全業種**では「具体的な計画がある」と答えた企業は全体で21.2%（前期22.5%）、「計画はあるが具体化していない」は16.1%（同14.5%）、「計画はない」は62.7%（同63.0%）であった。「計画あり」は合計37.3%となっている。

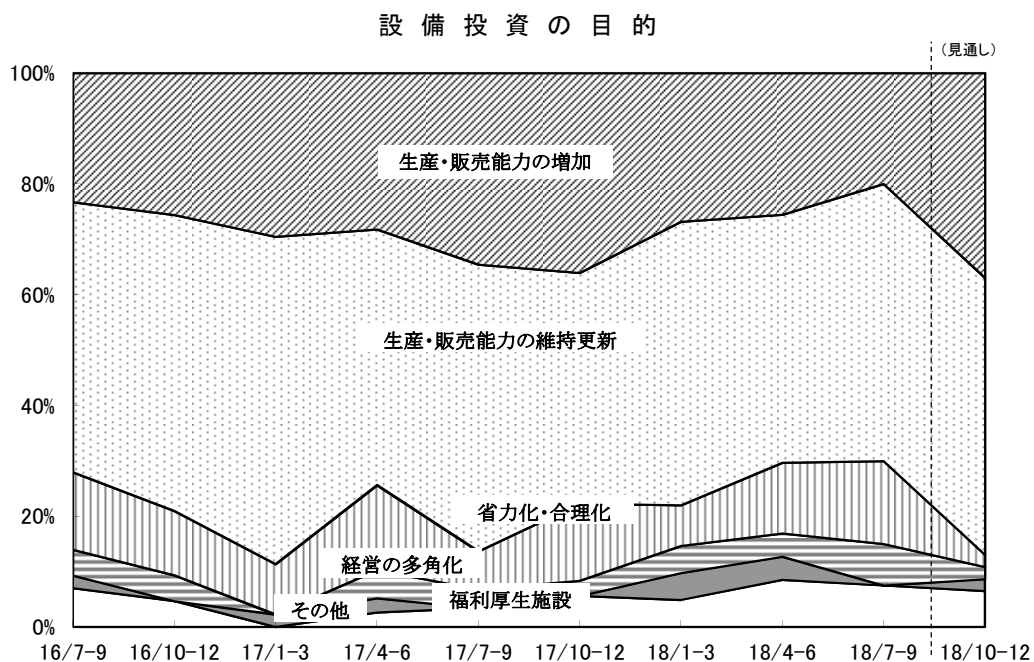
業種別にみると、「具体的な計画がある」および「計画はあるが具体化していない」と答えた企業は、**製造業**で45.6%（前期40.3%）、**建設業**で23.3%（同33.4%）、**卸・小売業**で37.7%（同34.5%）の見通しとなっている。



## (2) 設備投資の目的

**[7～9月期の実績]** 今回の調査で「設備投資を実施した」と答えた企業(29.1%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が50.0%（前期45.7%）でトップとなり「生産・販売能力の増加」が20.0%（同26.1%）で2位となった。業種別で見ると、**全業種**において「生産・販売能力の維持」がトップであった。

**[10～12月期の見通し]** 今後3ヵ月の設備投資について、「計画あり」と答えた企業(37.3%)の投資目的をみると、「生産・販売能力の維持更新」が50.0%でトップとなり、以下、「生産・販売能力の増加」37.0%、「その他」が6.5%で3位となっている。



## 4. 資金繰り状況について

### (1) 資金繰り状況

～ 実績は製造業と建設業は低下、卸・小売業は横ばい ～

[7～9月期の実績] 資金繰り状況（前期比）は、全業種では、「楽になった」とする企業が18.0%（前期18.9%）、「苦しくなった」が26.6%（同24.5%）であることから、DIは△8.6（同△5.6）と低下した。

業種別にDIをみると、製造業が△14.6（前期△8.1）、建設業が△3.5（同6.0）、卸・小売業は△6.5（同△6.7）と、製造業と建設業は低下、建設業は横ばいであった。

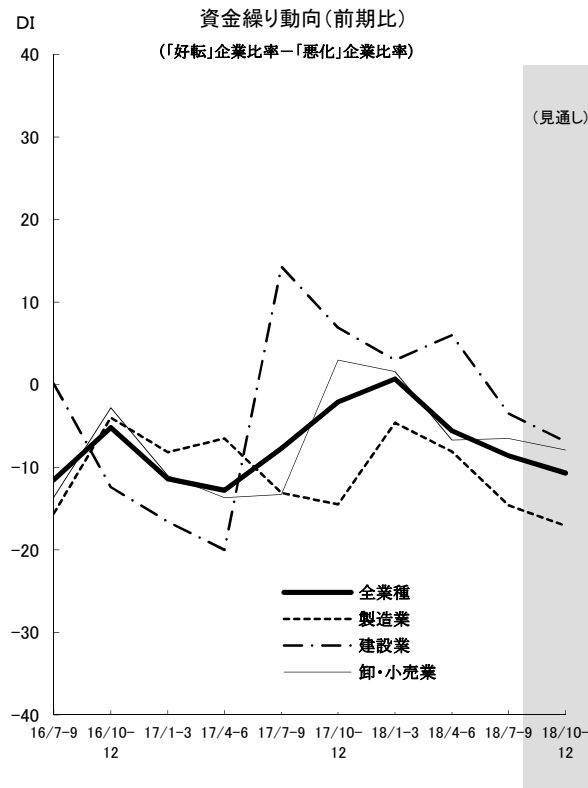
[10～12月期の見通し] 10～12月期の見通し（当期比）をみると、全業種では「楽になる」とみる企業が11.6%、「苦しくなる」が22.3%で、DIは△10.7となり、7～9月期実績と比較して、やや上昇する見通しとなっている。

業種別にDIをみると、製造業△17.1、建設業△6.9、卸・小売業△7.9となっており、製造業、建設業が低下、卸・小売業が上昇する見通しとなっている。

資金繰り(前期比)

		（％）					DI
	期	楽	やや楽	不変	やや苦	苦	
全業種	7～9月 (実績)	4.3	13.7	55.4	23.7	2.9	-8.6
	10～12月 (見通し)	2.2	9.4	66.1	20.1	2.2	-10.7
(製造業)	7～9月 (実績)	4.2	14.6	47.8	29.2	4.2	-14.6
	10～12月 (見通し)	0.0	10.6	61.7	21.3	6.4	-17.1
(建設業)	7～9月 (実績)	3.4	13.8	62.1	20.7	0.0	-3.5
	10～12月 (見通し)	3.4	6.9	72.5	17.2	0.0	-6.9
(卸・小売業)	7～9月 (実績)	4.8	12.9	58.1	21.0	3.2	-6.5
	10～12月 (見通し)	3.2	9.5	66.7	20.6	0.0	-7.9

資金繰り動向(前期比)  
(「好転」企業比率-「悪化」企業比率)



## (2) 現金・預金

**[7～9月期の実績]** 現金・預金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が15.3%（前期18.6%）、「減少した」が38.2%（前期33.1%）であることからDIは△22.9（同△14.5）と減少した。

**[10～12月期の見通し]** 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が9.8%、「減少する」が28.9%であることから、DIは△19.1と低下する見通しとなっている。

## (3) 金融機関借入

**[7～9月期の実績]** 金融機関借入金（前期比）については、「増加した」と答えた企業が15.6%（前期14.1%）、「減少した」が39.0%（同35.2%）であることからDIは△23.4（同△27.1）と低下した。

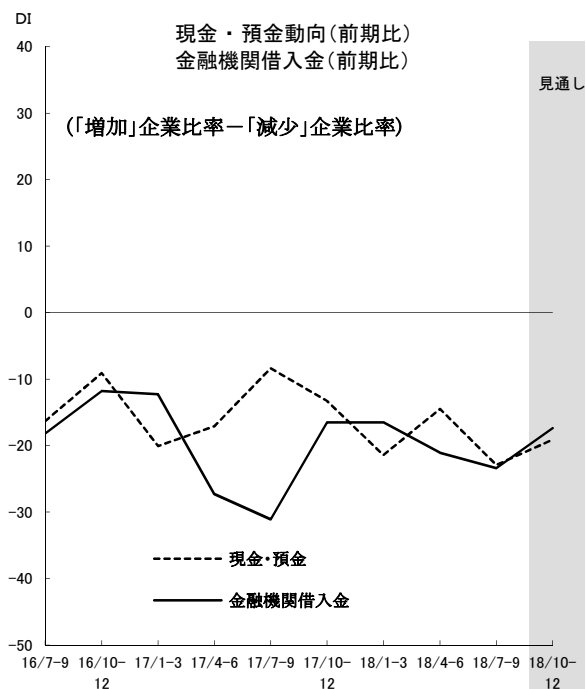
**[10～12月期の見通し]** 10～12月期の見通し（当期比）をみると、「増加する」とみる企業が13.9%、「減少する」が31.3%であることから、DIは△17.4とやや低下する見通しとなっている。

現金・預金(前期比)

		（％）						DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少		
全業種	7～9月 (実績)	4.2	11.1	46.5	34.0	4.2	-22.9	
	10～12月 (見通し)	2.1	7.7	61.3	26.8	2.1	-19.1	

金融機関借入金(前期比)

		（％）						DI
	期	増加	やや増	不変	やや減	減少		
全業種	7～9月 (実績)	2.1	13.5	45.4	31.9	7.1	-23.4	
	10～12月 (見通し)	2.2	11.7	54.8	27.7	3.6	-17.4	



#### (4) 販売代金回収期間

**[7~9月期の実績]** 販売代金回収期間（前期比）については、「短くなった」とする企業が1.4%（前期2.8%）、「長くなった」が6.9%（同7.6%）であることから、D Iは△5.5（同△4.8）となった。また91.7%（同91.7%）の企業は「変わらない」としている。

**[10~12月期の見通し]** 10~12月期の見通し（当期比）をみると、「短くなる」とみる企業が2.1%、「長くなる」が4.9%であることから、D Iは△2.8となる。また、93.0%の企業は「変わらない」とみている。

#### (5) 仕入代金決済期間

**[7~9月期の実績]** 仕入代金決済期間（前期比）については「長くなった」とする企業が0.7%（前期0.0%）、「短くなった」が2.5%（同4.9%）であることから、D Iは△2.8（前期△4.9）となった。また、95.8%（前期95.1%）の企業は「変わらない」としている。

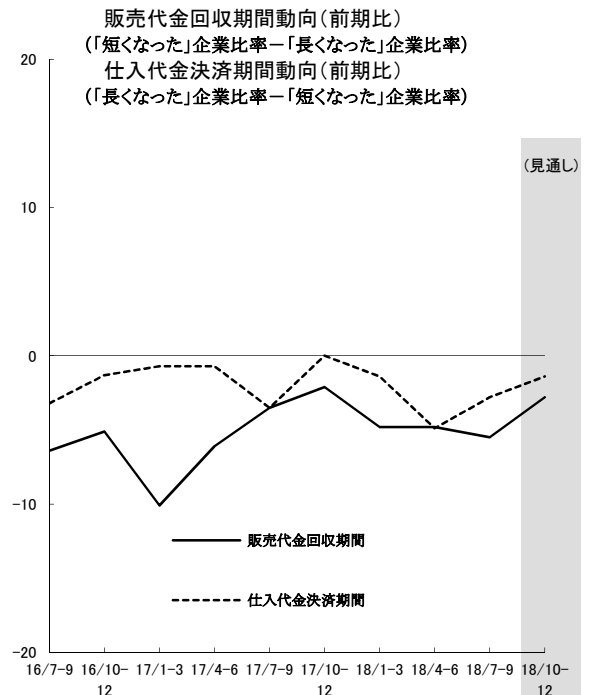
**[10~12月期の見通し]** 10~12月期の見通し（当期比）をみると、「長くなる」とみる企業が0.7%、「短くなる」が2.1%であることから、D Iは△1.4となる。また、97.2%の企業は「変わらない」とみている。

販売代金回収期間(前期比)

		（％）						
		期	短く	やや短	不変	やや長	長く	DI
全業種	7~9月 (実績)		0.0	1.4	91.7	6.9	0.0	-5.5
	10~12月 (見通し)		0.0	2.1	93.0	4.9	0.0	-2.8

仕入代金決済期間(前期比)

		（％）						
		期	長く	やや長	不変	やや短	短く	DI
全業種	7~9月 (実績)		0.0	0.7	95.8	3.5	0.0	-2.8
	10~12月 (見通し)		0.0	0.7	97.2	2.1	0.0	-1.4





## 5. 経営上の問題点について

～ 経営上の問題は全業種「人手不足」と「売上・受注不振」～

7～9月期における経営上の問題点をみると、全業種では「人手不足」20.6%（前期17.9%）、「売上・受注不振」16.8%（前期22.9%）、「原材料・仕入価格高」14.1%（同11.5%）となっている。

業種別に上位3項目をみると、**製造業**では「売上・受注不振」が23.0%で1位、「人手不足」が18.4%で2位、「原材料・仕入価格高」が14.9%と3位となった。

**建設業**では「人手不足」が30.2%で1位となり、「過当競争」が18.9%で2位、「原材料・仕入価格高」が11.3%で3位となった。

**卸・小売業**では「人手不足」が17.9%で1位、「売上・受注不振」が16.2%で2位、「原材料・仕入価格高」が13.7%で3位となっている

### 経営上の問題点

(2項目以内複数回答可)

